

1 学年美術科課題

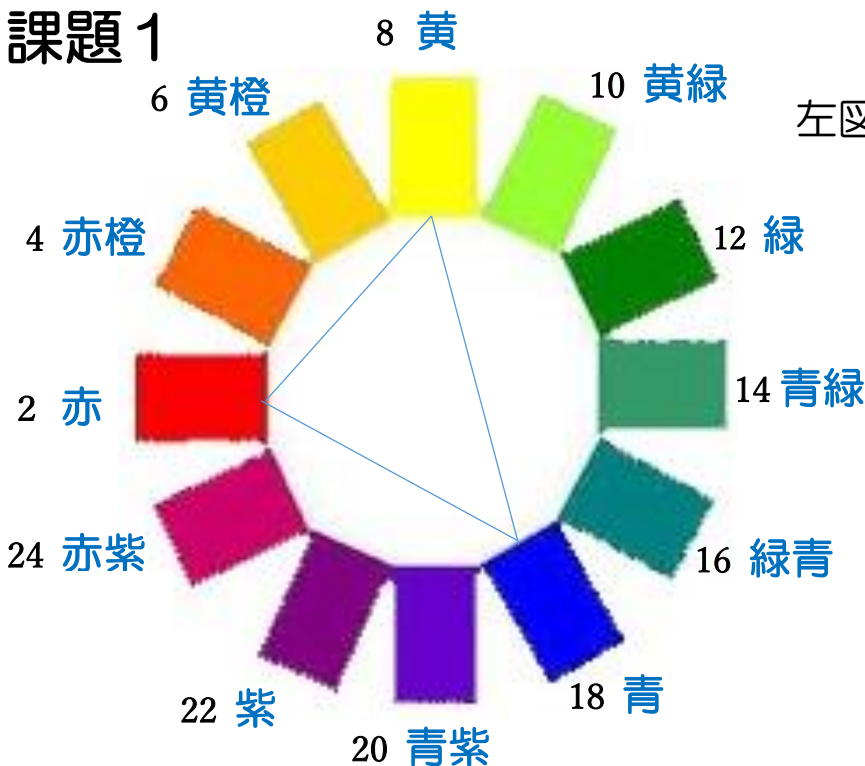
小学校の「図画工作」は、中学になって「美術」と名前が変わりました。「美術」とは、美を感じ、生み出す術（すべ）を学ぶ教科という意味があります。

中学美術は、3年間の授業を通して美しい絵や工芸品を作ったり、鑑賞したり、生活を美しく豊かに演出するための、基礎力を身につけます。

そのためにまず、絵やデザインを着彩し鑑賞するために、色彩について詳しく知る必要があります。休校中、下記の図に書かれた色彩についての言葉や色名を覚えてください。

※ 出された課題の色名や重要な言葉は、ノートに書いて覚えるようにし休校明けに提出してください。宿題として評価をし、最初の授業で小テストを行います。

課題 1



左図の名前を1 2色相の環（わ）と
いう意味で、**1 2色相環**と言う。

色相の前にくる番号を
配色番号という。

- ① 色のことを**色相**という。
- ② 色の明るさのことを**明度**という。
- ③ 色の鮮やかさのことを**彩度**と言う。
- ④ 上記の①②③のことを **色の3要素**という。

2		4		6		8		10		12	
14		16		18		20		22		24	

⑤ 赤・青・黄の3色を **色の3原色**という。この3色ですべての色相を作ることができる。この3色を混色すると黒に近い灰色になる。

⑥ 1 2色相環の色で**寒く感じる・収縮・後退・静的**に見える色を**寒色**という。
(青が入っている4色。14 青緑～20 青紫まで)

- ⑦ 12色相環の色で暖かく感じる・膨張・進出・動的に見える色を暖色という。
(2 赤～8 黄まで)
- ⑧ 暖色と寒色の中間にある色で、組み合わせる色によってどちらにも感じる色を、
中性色（中間色）という。(10 黄緑・12 緑・22 紫・24 赤紫 の4色)